

第9章 具体的プロジェクト(案)

生物多様性と生態系の保全・再生のため、県をはじめ市町村、市民・NPO、大学等が一体となつた中・長期的なプロジェクト(案)を以下に示した。今後、生物多様性の保全に関する県施策について、県戦略を踏まえて検証した上で、下案を参考にして重点的に実施するプロジェクトを検討する必要がある。

1. 重要種・品種・遺伝子の保護・増殖プロジェクト

希少種等絶滅の危機に瀕している野生種および品種のリスト化を進め、分子生物学および種生態学的な調査研究に基づき、その保護・増殖とともに生息・生育地確保をおこない、必要に応じて生息・生育地の復元および再導入をはかる。また緊急避難場所を確保し、さらに試験地や施設での栽培・飼育ならびに種子・系統株の保存また個体群の保護・保存についての活動をおこなう。

対象：ミヤコタナゴ、サケ、シャープゲンゴロウモドキ、アカウミガメ、トキ、ヒメボタル、ヒメコマツ、ミツガシワ、アサクサノリ、千葉県の栽培イネ品種、etc.

2. 重要群落・群集の保全・再生プロジェクト

県レベルや全国レベルでの希少性、また南限や北限の分布の植物群落、動物群集については、群落生態学および個体群生態学における調査研究を実施するとともに、現地での保全・復元のほか、かつての群落・群集の再生、さらに希少・重要な種については、保護・増殖の活動をおこなう。

対象：食虫植物群落、海岸植物群落、海草群落、サンゴ群落、干潟生物群集、etc.

3. 外来種防除および鳥獣被害防止のプロジェクト

外来種や農業等に被害を及ぼす野生鳥獣の生態と被害状況を調査把握し、その被害防止のための対策や防除技術について調査研究し、被害回避の技術開発とともに被害防止の活動をおこなう。

対象：ニホンザル、シカ、イノシシ、アライグマ、カミツキガメ、アカゲザル、キヨン、etc.

4. 三番瀬・東京湾の生物多様性保全・再生プロジェクト

豊かな漁業資源の東京湾、その最奥に残された高い生物多様性を有するの三番瀬をはじめ様々な干潟、さらにその湾岸域の生物多様性及び生態系にかかる資料収集と調査研究をおこない、東京湾及びその湾岸地域の生物多様性の保全・再生についての活動をおこなう。

対象：三番瀬、盤洲、富津岬、館山湾、干潟・砂浜再生、サンゴ礁・カキ礁の保護、藻場の保護・再生、etc.

5. 印旛沼・手賀沼の生物多様性保全・再生プロジェクト

水鳥、水生生物などの豊かな動植物が生息・生育し、飲料水・農業用水また内水面漁業等で

人々の生活とのかかわりの大きな印旛沼・手賀沼について、利根川や東京湾等とのつながりも含めその生物多様性と生態系についての資料収集・調査研究をおこない、その保全・再生についての活動をおこなう。

対象：手賀沼、印旛沼、利根川、谷津田の保全・再生、水鳥の保護・復活、水生動植物の保護・再生、etc.

6. 水源域・河川の生物多様性保全・再生プロジェクト

人々の水資源とともに多様な野生動植物の生息・生育にとって重要な水源と河川について、流域の自然・文化の多様性及び連続性、また埋立・産廃や種々の流域開発に水質汚染、水害等とのかかわりの観点から資料収集・調査研究し、その生物多様性と生態系の保全・再生についての活動をおこなう。

対象：水源林、泉・湧水、河川流域、河口域、ため池、産廃問題、流域開発、etc.

7. 里山・谷津田の生物多様性保全・再生プロジェクト

人々の生活・生業の場であるとともに多様な野生動植物が生息・生育し、人と自然、文化の調和・共存のシステムが構築された里山・谷津田について、その生物多様性と生態系の構造及び機能についての解析を基に、その保全・再生にかかる調査研究ならびに実践活動をおこなう。

対象：森林、谷津田、畑、集落構造、物質循環、エネルギー収支、生産性、経済性、etc.

8. 里海・海辺の生物多様性保全・再生プロジェクト

人々の生活・生業の場であるとともに多様な野生動植物が生息・生育し、人と自然、文化の調和・共存のシステムが構築された里海・海辺について、その生物多様性と生態系の構造及び機能についての調査研究を基に、その保全・再生にかかる活動をおこなう。

対象：干潟、磯、砂浜、集落構造、物質循環、エネルギー収支、生産性、経済性、etc.

9. 都市・開発地の生物多様性保全・再生プロジェクト

都市化、観光化、工場・港湾等のさまざまな開発地において、劣化・衰退傾向にある生物多様性と生態系の構造及び機能の調査研究を基に、その保全・再生にかかる活動をおこなう。

対象：市街地、工場地域、港湾、埋立地、公園・緑地、物質循環、エネルギー収支、生産性、経済性、etc.

10. 学校・公園のビオトープ推進プロジェクト

子どもが学ぶ学校や人々が憩う公園等において、動植物が豊かで、人々が生物・生命にふれ親しむ場としてのビオトープについてその自然環境の実態と活用・効果等における調査研究を行いつつ、その保持・復元また維持・管理手法の開発及び教育普及にかかる活動をおこなう。

対象：都市公園、学校ビオトープ、保持・復元の手法、管理・活用、市民参加、etc.

1.1. 山・川・海のフィールド・ミュージアムプロジェクト

山から川そして海へのつながりのなかで生物多様性や生態系、さらには人・自然・文化について資料収集及び調査研究をおこなうとともに、博物館その他の社会教育施設・大学等を拠点に地域の人々との協働による自然資産・文化資産を掘り起こし、その保全・再生、そして教育普及等にかかわる活動をおこなう。

対象：山間域、河岸域、海岸域、いすみ川流域、栗山川流域、小櫃川流域、糸川流域、利根川流域、作田川流域、真間川流域、etc.

1.2. 生命・自然体験による子どもの発育・健康増進プロジェクト

感動を与える子どもの身体及び精神をつくり、人々に安らぎと健康を増進させる生命・自然の体験について、その効果と方法に関する調査研究をおこない、生物多様性及び生態系と人の発育や健康とのかかわりを明らかにし、その教育普及にかかわる活動をおこなう。

対象：幼児、児童・生徒、障害者、老人、etc.

1.3. 有害・有毒物質の実態把握と生物被害防止プロジェクト

農業や園芸、緑地保全に使用される殺虫剤や除草剤の散布の実態、また産業廃棄物から漏出する環境ホルモン等化学物質に反応する生物の生理・形態や生物多様性、生態系とのかかわりについて資料収集及び調査研究し、その効果と影響を解析し、有害・有毒物質を無くす為の活動をおこなう。

対象：殺虫剤、除草剤、産業廃棄物、人への健康被害、奇形生物、生殖異常、etc.

1.4. 地域の生物多様性調査支援プロジェクト

市町村や企業・NPO が地域の生物多様性や生態系の保全・再生にかかわる資料収集や調査研究、また教育普及についての取り組みに対し、講師派遣等その専門的立場から支援のための活動をおこなう。

対象：地域調査、自然・文化活動、ボランティア活動、調査手法、標本づくり、etc.

1.5. 遺伝子組み換えの生物多様性への影響評価プロジェクト

食料生産やエネルギー確保等の面で大きな成果をもたらす反面、人の健康や生物多様性、生態系に対し悪影響が懸念される遺伝子組み換え技術について、資料収集及び調査研究をおこない、影響評価についての活動をおこなう。

対象：遺伝子組み換え作物モニタリング、自然形質転換、遺伝子水平伝播、etc.